

植物多様性センターの「ハマゴウ」

ハマゴウは香りのよい海岸植物として知られます。DNAに基づく新しい分類では、花のよく似たカリガネソウなどと同じく、クマツヅラ科からシソ科に変更になった植物でもあります。厳しい海岸の環境に適応することにより、日本を含めアジア・オセアニアに広く分布しています。学習園の伊豆諸島ゾーンでは(砂浜ではないので)、自生地より背丈が高く育っていますが、これからはしばらく花と香りを楽しませてくれそうです。



開花の様子：青紫色の花を穂状に咲かせ、夏の砂浜を彩る



生育形態：長い茎を伸ばし、節ごとに発根して海岸砂地を這う



葉：強い紫外線や潮風から守るため葉裏には白毛が密生する



果実：丸い果実の中の種子は水に浮き、海流によって運ばれる